

2008年9月19日
株式会社日立製作所

スーパーテクニカルサーバ「SR16000 シリーズ モデル VL1」を販売開始



スーパーテクニカルサーバ「SR16000 モデル VL1」

株式会社日立製作所（執行役社長：古川 一夫／以下、日立）は、このたび、流体解析や衝突解析、気象予測といった科学技術計算分野向けのスーパーテクニカルサーバ「SR16000 シリーズ」において、1ノード^(*1)当りの理論ピーク性能^(*2)が既存モデル L2 の約 2 倍となる 1.28TFLOPS^(*3)を実現する新モデル「SR16000 モデル VL1」をラインアップに追加し、9月22日から販売を開始します。

*1 ノード：並列コンピュータを構成する独立した演算処理単位

*2 理論ピーク性能：実際にプログラムを実行したときの性能ではなく、同時に動作可能な全ての演算器が動作したときの性能

*3 1TFLOPS（テラフロップス）：浮動小数点演算を1秒間に1兆回実行する能力

「SR16000 モデル VL1」は、1ノードに最新の POWER6™プロセッサ（5.0GHz）を最大 32 個、メモリは最大で 1TB を搭載可能な高性能なスーパーコンピュータシステムです。大容量メモリを共有した多数のプロセッサ間で処理を分担して行うことができるため、大規模な行列計算や数値シミュレーションなどの複雑な科学技術演算を、より高速に処理できます。また、I/O の拡張性を大幅に増強し、PCI-X^(*4)を 240 スロットまで拡張することが可能となったことで、最大 I/O 性能^(*5)は既存モデルの 4 倍となる 48GB/s を実現しました。

*4 PCI-X：コンピュータ内のデータ伝送路である PCI バス規格の拡張版

*5 最大 I/O 性能：実際にプログラムを実行したときの性能ではなく、ノードが有する I/O 転送の帯域幅

本モデルは、業界標準に対応したオープンな環境と高い信頼性を誇る AIX®を OS に採用した、スカラ型スーパーコンピュータシステム^(*6)です。従来日立が培ってきた運用管理のノウハウ、自動並列化コンパイラ^(*7)やクラスタ管理技術など日立独自の技術により、最適のチューニングサポートを提供することで、ユーザーは本モデルの性能を最大限に引き出し、利用することが可能です。

なお、現在ベクトル機^(*8)を利用しているユーザーに対しても、システム導入、構築などのサービスメニューや、ユーザーのプログラム環境に応じたきめ細かいチューニングサポートなどを行い、ベクトル機環境からの容易なプログラム移行を実現します。

*6 スカラ型スーパーコンピュータシステム：汎用のマイクロプロセッサを大量に搭載したスーパーコンピュータシステム

*7 自動並列化コンパイラ：演算の並列処理化を自動で行うコンパイラ

*8 ベクトル機：ベクトル（1次元の配列）を単位として演算を行うスーパーコンピュータシステム

■新モデルの概要

モデル	冷却方式	プロセッサ (周波数)	ノードあたり CPUコア数 (way)	ノードあたり 理論ピーク性能	ノードあたり 最大メモリー容量
SR16000 モデル VL1	空冷	POWER6™ (5.0GHz)	8~64	1.28TFLOPS	1TB

■新モデルの価格と出荷開始時期

モデル	価格	出荷開始時期
SR16000 モデル VL1	個別見積	9月22日

■他社商標注記

- ・POWER6™は、米国およびその他の国における米国 International Business Machines Corp.の商標です。
- ・AIX®は、米国およびその他の国における米国 International Business Machines Corp.の登録商標です。
- ・その他、記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■製品情報

- ・スーパーテクニカルサーバに関するホームページ
<http://www.hitachi.co.jp/hpc/>

■取扱事業部・照会先

株式会社 日立製作所 情報・通信グループ
エンタープライズサーバ事業部 企画部
〒259-1392 神奈川県秦野市堀山下1番地
電話:0463-87-6786(ダイヤルイン)

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
